

## II 方針と行動計画

### 1 計画の方針

策定委員会では「グループインタビュー」と「地区別検討会」によって抽出された課題と「健康づくりアンケート」「コスモスリサーチ」の結果を分析し、磯子区の地域が抱える課題の根本的な原因として「**3つのキーワード（つながり・場・人）**」が浮かび上がってきました。

私たちがまず取り組むべきなのは、「**地域のつながり**」を再構築することです。それは、かつてあったつながりを単純に復活させるのではなく、今の時代の私たちの生活や価値観にフィットした方法で取り組む必要があります。そのための有効な手段として「**場**」と「**人のネットワーク**」を意識的につくり出していくことが重要だと考えました。そこで「**地域のつながり**」をつくり出す方策（しかけ）として、次の**5つ**を**計画の方針**とし、具体的な行動を起こします。

#### つながり

##### (1) 地域交流の促進とネットワークづくりを進めよう

人と人、活動と活動をつなぐさまざまな交流の機会づくりを進めます

##### (2) 必要とする人や団体に的確な情報が届くようにしよう

必要な人や団体に行政情報、事業者情報、地域情報などの的確な情報が届き、相談につながるしくみをつくります

#### 場

##### (3) 居場所づくりと活動の場の確保を進めよう

空き家・空き店舗などを活用し、誰もが気軽に立ち寄り参加できる場の設置や、皆さんの取り組みを進めるための「活動拠点」を確保するしくみをつくります

#### 人

##### (4) 地域福祉保健を進める担い手の裾野を広げ専門性を高めよう

地域福祉保健の取り組みをさらに広げていくために、誰もが担い手になれるよう、思いを受け止め活躍の場につなぐしくみをつくります

##### (5) 地域のつなぎ役が活躍できるようにしよう

地域の多彩な人材や資源をつなぐコーディネーターやリーダーを育成し、活躍のための環境づくりを進めます

## 2 行動計画の全体像

### 計画の方針

地域交流の促進と  
ネットワークづく  
りを進めよう

必要とする人や団  
体に的確な情報が  
届くようにしよう

居場所づくりと活  
動の場の確保を進  
めよう

地域福祉保健を進  
める担い手の裾野  
を広げ、専門性を  
高めよう

地域のつなぎ役が  
活躍できるように  
しよう

### キーワードに基づく取り組み（テーマ別の取り組み）

#### つながりづくり

##### 人と人をつなぐ交流機会づくり

交流のきっかけをつくる

##### 分野・団体をつなぐ「ヨコの連携」

自治会・町内会、グループ・団体・  
組織の連携を進める、強化する

##### 的確な情報提供

必要な人に適切な情報を発信する

##### 気軽に相談できるしくみづくり

誰もが気軽に相談しやすくする

#### 場づくり

##### 身近な地域の「居場所」・「活動拠点」づくり

誰もがいつでも気軽に立ち寄れる場や、  
活動の拠点をつくる

##### 区民交流ラウンジの設置

区全体の情報交換、交流の場をつくる

#### 人づくり

##### 知識・理解の促進

福祉や健康づくりに関する知識・理解を広める

##### 多様なきっかけづくり

地域で活動するきっかけをつくる

##### コーディネーター・リーダー育成

活動や人をつなぐ人材を育成する

## 地区別の重点的取組み

### 根岸地区

- ・地域での子育てを考えよう
- ・いつまでも健康でいきいき暮らそう
- ・誰もがつながり助け合うまちをつくろう
- ・マナーを守ってきれいで気持ちのいいまちをつくろう

### 滝頭地区

- ・子ども・高齢者・障害のある人の居場所づくりと交流を進めよう
- ・あいさつのあるまちをつくろう
- ・健康づくりを進めよう
- ・地域ケアプラザをもっと活用しよう
- ・みんなで守ろう自転車のマナー

### 岡村地区

- ・子どもが地域と密着して成長できるよう親世代を含めて支援しよう
- ・地域ぐるみで高齢者を支えよう
- ・活動の場を確保しよう

### 磯子地区

- ・子ども・青少年が地域でいきいきと過ごせるようにしよう
- ・子どもから高齢者まで健康づくりを進めよう
- ・地域の人の得意分野を生かそう
- ・地域の連携で安心安全に暮らせるまちにしよう

### 汐見台地区

- ・子ども・青少年の居場所づくり、交流を進めよう
- ・高齢者の閉じこもりを予防しよう
- ・地域にいる人材を掘り起こそう
- ・地域の活動をPRしよう
- ・自由に集まれる場所をつくり、交流を進めよう

### 屏風ヶ浦地区

- ・障害のある人との交流を深めバリアフリーを進めよう
- ・地域の人々の孤立を防ごう
- ・お互いの活動をサポートし、世代を超えた交流の場をつくろう

### 杉田地区

- ・青少年と大人たちの協働により地域の交流を進めよう
- ・高齢者の生きがい、健康づくりを進めよう
- ・地域での連携交流をもとに防犯と防災を進めよう
- ・地域のコミュニケーションでマナー問題を解決しよう

### 上笹下連合地区

- ・青少年の健全なたまり場をつくろう
- ・高齢者を支えあうしくみを推進しよう
- ・顔見知りの関係をつくろう
- ・近隣との交流で防犯を進めよう
- ・災害時に備え役立つ防災訓練に取り組もう

### 洋光台地区

- ・高齢者、障害のある人の理解を深め、地域への参加を進めよう
- ・日常生活を見守るネットワークづくりを進めよう
- ・団塊の世代の力を活かし情報伝達のしくみをつくろう
- ・コミュニケーションの力で防犯防災に取り組もう

### 上笹下地区

- ・高齢者の生きがいを支援しよう
- ・子どもたちが健やかに育つ地域をつくろう
- ・地域の安全を守るため防犯・防災を進めよう

## 重点推進プログラム

### 「地域のしあわせバンク」

地域の人材、活動グループ、活動の場、活動内容、活動資金情報などの「宝」を登録し、活用します

### 「あなたの提案実現！」

区民・団体・事業者のみなさんが持っている斬新なアイデアや活動に関する提案を事業化します

### 3 みんなで取り組む行動計画

行動計画は区民の皆さんと団体・事業者・行政がみんなで行ってほしいという提案です。皆さんの「チャレンジ」や「参画」によって計画が実現します。

#### (1) つながりづくり

##### ●人と人をつなぐ交流の機会をつくりましょう！

- ・さまざまな参加者の生きがいや楽しみになり、子育て支援や教育にもつながる交流づくりを進めます。
- ・障害のある人や外国籍の人、若者などあらゆる区民が参加でき、理解、交流を進める機会を増やします。
- ・食生活等改善推進員（ヘルスメイト）を中心に、食を通じた地域のつながりづくりのきっかけをつくります。
- ・地域の活動や人の善意をつなぐ地域通貨について検討や実践を進めます。

##### ●分野団体をつなぐ「ヨコの連携」を進めましょう！

- ・課題解決に向けグループ、団体、組織の連携を強化します。
- ・「介護予防」「在宅ケア」「虐待予防」「ターミナルケア」などのテーマを通じて、保健・医療・福祉の利用者本位に立った連携を強めます。
- ・区行政への政策提案を行っている区民会議と連携し、協働で具体的な課題解決に取り組みます。

##### ●的確な情報提供のしくみをつくりましょう！

- ・必要な人に必要な情報がきちんと届くよう、情報提供を行う機会を増やします。
- ・伝える対象や内容にあわせた情報伝達手段の検討を進めます。

##### ●「声なき声」を受け止める、誰もが気軽に相談できるしくみをつくりましょう！

- ・「何か助けが欲しいがうまく説明できない」「どこに相談してよいかわからない」「相談しても取り合ってもらえそうもない」という思いを受け止める相談のシステムをつくります。
- ・育児、介護、不登校、ひきこもり、ニート、孤独、精神疾患、家族間の問題など、現代的な課題を受け止められるような相談・支援のしくみづくりを進めます。
- ・自治会・町内会の役員や民生委員児童委員、保健活動推進員、ボランティア活動をしている皆さん等が身近な相談者として活躍できるようしくみをつくります。
- ・自助グループが自力で課題を解決できるようになるしくみを検討します。
- ・グループや団体のリーダー等を対象に「相談援助」の研修を開催します。

#### (2) 場づくり

##### ●身近な地域の「居場所」・「活動拠点」づくりを進めましょう！

- ・誰もが気軽に立ち寄れて、自分らしく振る舞え、役割を持って参加できる「居場所」をつくります。
- ・「居場所」では利用者が惹かれる企画やプログラムの他、掲示板などの情報提供機能、相談機能を展開します。
- ・「居場所」「活動拠点」をつくるために、自治会館、集会所、空き店舗、空き家、寺社、会社などの空きスペースの既存資源を活用できるしくみをつくります。
- ・「居場所」の企画、提案、運営の主体は区民のみなさんです。区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザはみなさんの提案の実現に向けて支援をします。

##### ●「区民交流ラウンジ」をつくりましょう！

- ・身近な地域の居場所づくりを進めるために、モデル的な「居場所」として設置します。
- ・区全体の関連情報やニーズなどを集積し、「居場所」の支援をするために活用します。

#### (3) 人づくり

##### ●福祉や健康づくりに関する知識・理解を広めましょう！

- ・区役所や社会福祉協議会、地域ケアプラザ、市民利用施設、市民団体などが行う広報、イベントや学習会、講座を通して、福祉や健康づくりに関する知識・理解を広めます。

##### ●福祉の担い手のすそ野を広げるために、多様なきっかけをつくりましょう！

- ・個人が福祉・保健の活動を始めるきっかけとなるような「ボランティア講座」「地域デビュー講座」

など、多様な機関での開催を進めます。

- ・中学生、団塊の世代や主婦層など小さい子どもから高齢者まで、潜在的なパワーを持つ人達が地域の「助っ人」になれるような「地域デビュー」のしくみをつくります。

● **コーディネーターや地域の活動リーダーを育成しましょう！**

- ・仲間づくりを進め、個々の活動や人と人をつなぐコーディネーターを育成します。
- ・主体的に活動を進めるリーダーを育成します。

**(4) 重点推進プログラム ～計画を推進するために重点的に取り組むプログラムです～**

● **「しあわせバンク」 ～地域の「宝」を集めて活かすしくみ～**

- ・地域にある福祉や健康に関する人材、組織、団体、活動場所、活動内容、活動資金確保、ニーズなどの情報をデータ化し、誰もが利用できる「地域の財産」にします。
- ・必要な人に必要な情報や人材をつなげるコーディネーターを育成します。
- ・しあわせバンクの情報とコーディネーターは「区民交流ラウンジ」や「居場所」を中心に配置し、誰もが気軽にアクセスできるようにPRをします。
- ・しあわせバンクは区民の皆さんといっしょに協働して取り組みます。

● **「あなたの提案実現！」 ～みなさんの思いをカタチにするしくみ～**

- ・区民のみなさんや民間の事業者がもっている斬新なアイデアや活動の進め方に関する提案、また事業を動かす多彩な力を活かし事業化をするしくみをつくります。
- ・提案の企画書作成や、運営の方法に関する研修を行うなど、提案を協働で実現させるプロセスを支援します。
- ・横浜市の政策提案事業、協働事業提案制度などの制度の活用促進をします。
- ・事業の募集や提案事業の審査状況、実施状況、成果報告、今後の方針についてホームページなどで情報公開をします。
- ・本計画を推進するために新たに設置する「磯子区地域福祉保健計画推進委員」が中心となって進めます。

**(5) 地区の重点的取り組み**

**ア ねらいと進め方**

● **地区別の重点的取り組みのねらい**

- ・地域の福祉と健康の向上を進める上で課題となる地域独自の問題を、重点的な取り組みとしてまとめました。
- ・地区の意気込みが伝わるように、各地区のスローガンを決めました。

● **進め方**

- ・推進体制の柱は各地区の連合町内会、地区社会福祉協議会です。
- ・計画の実行にあたっては、単位自治会、町内会をはじめ市民活動グループや関心のある方が自由に参加します。
- ・地区の取り組みがどのように進んでいるか年に1～2回振り返りや情報交換の会合を行います。
- ・区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザは、情報提供、活動組織のスキルアップ、連携の促進、活動費の助成などを行います。

● **参加の方法**

- ・活動に参加したり、アイデアを提案するなど、地区の取り組みに参加するためにはあらゆる方法があります。
- ・次のページからは各地区の取り組みをご紹介します。文中の☆は計画を推進していく上でのポイントとなる事です。

◎ 計画を進めるための役割分担については22～27Pをご参照ください



## イ 各地区の取り組み

### 根岸地区

#### ～ハッピー根岸

#### 地区の特性

- 堀割川、根岸森林公園など水と緑に囲まれている
- 根岸つつかし公園・旧柳下邸など歴史がある街で神社・仏閣も多い
- 道幅が狭いところが多い など

### 地域での子育てを考えよう；子どもたちが自主企画事業を行い、子どもと大人の接点をつくる

#### 【具体策】

- ・ 子どもたちが自由に意見を出しあえる環境をつくる（自治会町内会、学生、PTAが話し合っている場をつくる。）
- ・ 子ども・青少年と大人と一緒に楽しめる地域イベントを実施する。

#### 【体制など】

- ・ 中高生／子ども会／自治会町内会 など

### いつまでも健康でいきいき暮らそう(1)；健康に関する活動を活性化させる

#### 【具体策】

- ・ 自治会町内会で声かけをして参加者を増やしていく。
- ・ 施設、自治会町内会、老人クラブ、区役所などの情報を集めて整理する。（活動内容、対象者、地域、施設、時間帯、参加費、主催者など）
- ・ 活動のリーダーの連絡会を行い、課題や企画の調整、連携等について検討する。また、住民への広報の方法を考えていく。

#### 【体制など】

- ・ 連合町内会／地区社会福祉協議会／保健活動推進員／体育指導委員／青少年指導員



### いつまでも健康でいきいき暮らそう(2)；「食」をテーマにした事業を行う

#### 【具体策】

- ・ バランスのよい食事、食の安全、惣菜や電子レンジを利用した簡単な料理、残った食材の活用などをテーマとした食に関する事業を行う。

#### 【体制など】

- ・ 連合町内会／地区社会福祉協議会／保健活動推進員／体育指導委員／青少年指導員
- ・ 区役所、区社会福祉協議会、ケアプラザ

### 誰もがつながり助け合うまちをつくろう(1)；大人と中学生と一緒に防犯パトロールを行う

#### 【具体策】

- ・ 自治会町内会が学校に出向き、学校の先生を通じて相談することから始める。
- ・ 曜日を決めて一緒にパトロールをする。
- ・ 防犯の会合に中学生も参加してもらう。

#### 【体制など】

- ・ 自治会町内会／中学校福祉委員会
- ・ 中学校と地域が連携していく。

### 誰もがつながり助け合うまちをつくろう(2)；中学校で防災講習を行う

#### 【具体策】

- ・ 救急救命の講習、防災機材の取り扱い訓練を中学校の保健体育の授業の中で実施する。

#### 【体制など】

- ・ 連合町内会／中学校福祉委員会
- ・ 中学校と地域が連携していく。

### マナーを守ってきれいで気持ちのいいまちをつくろう；「私たちのきれいなまち宣言」の作成

#### 【具体策】

- ・ まずは各自自治会町内会ごとに、守るべきマナーの宣言文を作成する。
- ・ 根岸地区全体で集約し、連合単位で取り組む事業を決める。
- ・ 「花いっぱい運動」についても取り組んでいく。

#### 【体制など】

- ・ 連合町内会と自治会町内会が中心になって進める。
  - ・ 環境事業推進員、G30関係者（商店会、学校、PTA、消費生活推進員、企業、スーパーなど）
- ☆できるだけ多くの人に参加してもらうよう呼びかける。

## 滝頭地区

### ～人にやさしく滝頭

#### 地区の特性

- 下町情緒を残した人情味があふれるまち
- 生活道路が狭く、歩道のない道が多い など

#### 子ども・高齢者・障害者の居場所づくりと交流をすすめよう；多世代交流のためのサロンづくり

##### 【具体策】

- ・ ケアプラザ・コミュニティハウス・銭湯・空き店舗などを活動拠点として「ふれあい喫茶」を行う。
- ・ 障害のある人とのふれあい、勉強（理解）の場をつくる。
- ・ 個別に声かけをしていく。口コミで広げる。
- ・ 喫茶を拠点に情報発信する。
- ・ 掲示板で複合的なニーズを把握する。

##### 【体制など】

- ・ 地区社会福祉協議会
- ・ 出入り自由な実行委員会をつくる。
- ☆できるだけ広い範囲の参加者に集まってもらうように声かけする。

#### あいさつのあるまちをつくろう；あいさつを習慣づけるために、あいさつ運動のキャッチコピーをつくる

##### 【具体策】

- ・ 自治会町内会単位であいさつ運動のキャッチコピーを募集、選定する。
- ・ 決定したキャッチコピーを回覧板の隅に書きこんだり、ステッカーをつくって配付するなどして周知する。

##### 【体制など】

- ・ 自治会町内会が中心となる。
- ・ 子ども会・PTA
- ☆保育園・幼稚園・小学校に協力依頼をする。

#### 健康づくりをすすめよう；脳の活性化にとりくむ（健全な井戸端会議で脳を使う）

##### 【具体策】

- ・ ケアプラザなどで行われている活動の情報（趣味の活動、健康の講話など）をみんなに伝える。
- ・ 例えば病院にチラシを置くなど、今までとは違う戦略を進める。
- ・ 身近な場所での井戸端会議…おしゃべりで友達づくり。  
（おしゃべりは薬よりも体に効く）、軽い体操（毎回5分がいい）

##### 【体制など】

- ☆みんなが気軽に参加できるテーマと活動のルールを考えよう。
- ☆世話役の負担はゼロに近づける。

#### 地域ケアプラザをもっと活用しよう；ケアプラザでイベントを行い、小学生(保護者)との交流の機会を増やす

##### 【具体策】

- ・ イベントを小学生にも手伝ってもらおう。
- ・ イベントを通じてケアプラザをPRし、認知度を高める。
- ・ お茶などを飲める場所をつくる。

##### 【体制など】

- ☆大きな掲示板を見やすいところに設置し、PRをしていく。

#### みんなで守ろう自転車のマナー；自転車のルールを教える機会をつくる

##### 【具体策】

- ・ 自治会町内会（子ども会）で夏休みなどに自転車の乗り方教室を毎年行う。
- ・ 自転車の乗り方ビデオを探す。もしなければ自治会町内会で作る。（交通安全協会で貸出しあり）
- ・ 掲示板でPRする。乗り方・停め方のチラシをつくって回覧する。
- ・ 自転車販売店にも置いて配ってもらおう。

##### 【体制など】

- ・ 子ども会／自治会町内会／連合町内会／学校／PTA／交通安全指導員
- ☆子どもだけの問題ではなく、大人も学ぶ機会とする。
- ☆ハード面のことについて、行政、警察と話し合う場をつくる。父親の参加も呼びかける。

## 岡村地区

### ～未来へつなごう岡村の輪

#### 地区の特性

- 緑に囲まれ、三殿台遺跡や岡村天満宮など歴史資源が豊かな地域
- 昔から住んでいる人が多く、地域の結びつきが強い など

#### 地域ぐるみで高齢者を支えよう；サロンをつくる

##### 【具体策】

- ・ 誰もがいつでも来られるように定例化する。（月1回の開催をめざす）
- ・ 会場の確保については自治会町内会に関わってもらい、各自自治会で開催する。
- ・ 送迎については、お迎えに行ってくれる人を頼む。5年後を目標に送迎サービスを使えるようにしたい。
- ・ 内容は、既存の輪踊り、ペタンク、習字、お茶など。
- ・ 費用・経費については、会場借上費、お茶代は参加者負担とする。

##### 【体制など】

- ・ 支えあい連絡会
- ☆地域の先生に活躍してもらう。
- ☆スタッフ…老人クラブなど協力者を募る。



#### 子どもが地域と密着して成長できるよう支援しよう；親と子どもが自主的に魅力ある企画づくりを

##### 【具体策】

- ・ 参加する親や子ども自らが企画する。
- ・ ニーズを把握する。（アンケートの実施、青少年部会や子ども会で意見を聞くなど）
- ・ 子どもの企画を大人が支援する。
- ・ ジュニアリーダー育成につながる異年齢交流の機会をつくる。

##### 【体制など】

- ・ 青少年部、子ども会、青少年指導員、体育指導委員が当初は関わる。
- ・ 将来的には大人がジュニアリーダーを支援する体制をつくる。
- ・ 学校の校外委員を子ども会に巻き込む。
- ・ イベントの時に役員が友達を誘う。（声かけの輪を広げる）
- ☆学校と地域が連携する。
- ☆親が参加する。
- ☆開かれた子ども会にする。

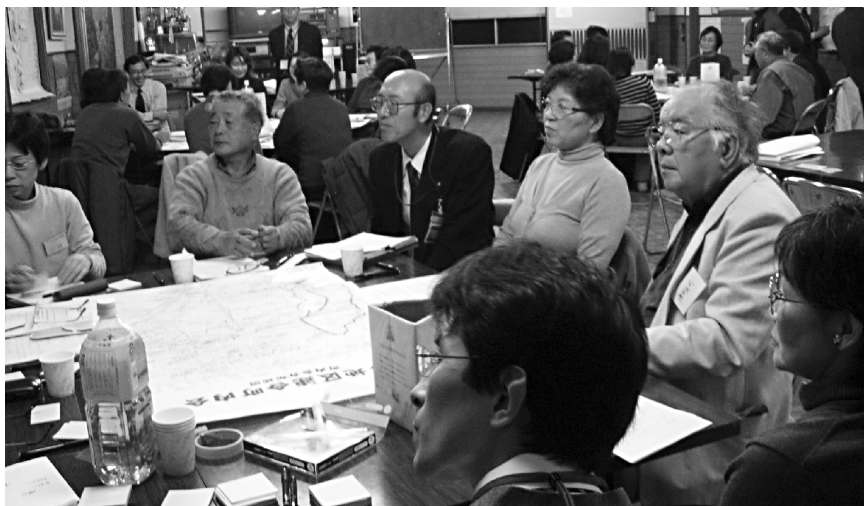
#### 活動の場を確保しよう；空き地の活用について検討していく

##### 【具体策】

- ・ 泉谷の空き地（公有地）の活用について、市町村整備計画などの制度の動向をみながら行政と連携して検討していく。
- ・ 介護保険制度の小規模多機能施設などを誘致し、その一部を自治会町内会で使用できないかどうかについても考えていく。

##### 【体制など】

- ・ 行政との連絡窓口として、泉谷自治会が中心となる。
- ☆当該土地がどのような条件で使用できるかについて調べていくことも必要。





## 磯子地区

### ～みんなが住みたいまち磯子

#### 地区の特性

- 古くから地域に親しまれている浜マーケットがある
- 古くからある住宅地と新興住宅が混在している地域
- 公共施設が多い地区 など

#### 地域の子の得意分野を生かそう (1) ; 交流のためのイベント・講座を行う

##### 【具体策】

- ・清掃活動企画・防災イベントの企画立案をする。

##### 【体制など】

- ・防災イベントは、警察・消防OBをまきこみたい。
- ・従来の自治会町内会中心の手法ではなく、企画立案グループの立上げが必要。

#### 地域の子の得意分野を生かそう (2) ; 子どもを預かる人・場をつくる

##### 【具体策】

- ・子どもを預ける人・預かる人が顔合わせをする。

##### 【体制など】

- ・町内会婦人部/区役所/区社会福祉協議会

#### 地域の連携で安心安全に暮らせるまちにしよう (1) ; 要援護者のリストづくり住宅地図で全体を把握

##### 【具体策】

- ・登録を増やすために、自治会町内会、民生委員から働きかけを続けていく。広報もしていく。
- ・敬老の日のリスト、老人会の名簿を活用。

##### 【体制など】

- ・自治会町内会が中心になって進める。
- ☆リストには自主的に登録（まずは顔を覚えてもらう等信頼できる関係づくりが必要）。登録の強制はできない。

#### 地域の連携で安心安全に暮らせるまちにしよう (2) ; 地域全体で防犯に取り組む

##### 【具体策】

- ・日常的に声かけ運動や防犯パトロールを行う。
- ・犬の散歩をする人に腕章をつけてもらう。
- ・街を明るくする。（防犯灯、センサーライトなど）

##### 【体制など】

- ・自治会町内会が中心になって進める。

#### 子どもから高齢者まで健康づくりをすすめよう ; ラジオ体操を週1回行う

##### 【具体策】

- ・3ヶ所で実施する（海辺の地域・芦名橋公園・レインボー第2公園）。
- ・週末の朝6時半～。
- ・小学校、既存の自治会組織でのチラシ配付、回覧、掲示。
- ・親子、孫と祖父母、友人、近隣などが連れ立って参加する。
- ・NHKのラジオ体操の「出張ラジオ体操応募プロジェクト」でイベントを実施。

##### 【体制など】

- ・学校家庭地域連絡会/保健活動推進員/体育指導委員/青少年指導員/老人会/海側の大企業等、「この指とまれ」で協力者を募る。
- ☆子ども会/自治会町内会/老人会に加入していなくても参加OKとする。
- ☆歩いて会場まで行くということが大切。
- ☆仲間づくりで新しい活動の展開を期待。
- ☆コーヒー、茶、おにぎりなどがあればいい。

#### 子ども・青少年が地域でいきいきと過ごせるようにしよう (1) ; 子ども・親子で参加する場をつくる

##### 【具体策】

- ・地域を巡回する体験型講座を開催する（料理・お菓子づくり、ホタル・星を見るツアーなど）。
- ・料理、歴史、科学などが得意な人を巻き込んで企画・実施する。
- ・社会福祉協議会・生涯学習支援センターに登録されている人材を発掘する。
- ・母親向けの講座（美容、カラーコーディネート等）、父親向けの講座（ソバ打ち、サッカー等）を開催。

##### 【体制など】

- ・地区社会福祉協議会/ケアプラザ/支えあい連絡会などが実験的に実行委員会をつくってやってみる。
- ・子ども会、PTA、学校、自治会町内会などで呼びかける。
- ☆やる気のある人をうまく集めるのがポイント。

#### 子ども・青少年が地域でいきいきと過ごせるようにしよう (2) ; 地域の子育て情報を発信する

##### 【具体策】

- ・地域ごとの子育て行事カレンダー、子育てマップをつくる。
- ・学校や市民団体などから地域情報を発信する。

##### 【体制など】

- ・地域/学校/市民団体

## 汐見台地区

### ～心通わす汐見台

#### 地区の特性

- 社宅を中心とした大規模な中層住宅団地の街
- 久良岐公園をはじめ豊富な自然がある など

#### 子ども・青少年の居場所づくり、交流をすすめよう；子どもたちの自主企画を大人たちがサポートする

##### 【具体策】

- ・ The汐見台Grew up With us!(大人になろう、私たち)
- ・ 小中学校の生徒会と子どもはぐくみ委員会・自治会連合会の話し合いをもつ。
- ・ チラシや汐見台ニュースの広報でPRする。

##### 【体制など】

- ・ 子どもHAPPY委員会（子どもたちによる自主企画委員会を創設する）／子どもはぐくみ委員会／小中学校、幼稚園、保育園、自治会連合会

#### 高齢者の閉じこもりを予防しよう；世代間で交流できるサロンにする

##### 【具体策】

- ・ 高齢者から子どもまで自由に交流できるサロンとして福祉センターの図書室の活用策をねらう

##### 【体制など】

- ・ 福祉実行委員会／福祉コミュニティ
- ☆世代間の交流をする際、子どもとお年寄りでは動きが違うので工夫が必要。
- ☆参加するとほっとするスタッフ体制になるとよい。

#### 地域にいる人材を掘り起こそう；人材バンクをつくる

##### 【具体策】

- ・ バンクをつくる目的としては、①防災、②防犯、③地域活動PR、④福祉活動の活性化
- ・ 全戸アンケートにて人材を把握する。

##### 【体制など】

- ・ 自治会連合会を中心に検討する。
- ☆すでにさまざまなグループで活躍している人たちがいる。
- ☆定年後のお父さんや若い人も人材として集めたい。

#### 地域の活動をPRしよう；地域活動の情報を収集し、発信する

##### 【具体策】

- ・ 各グループから年間計画、活動内容、予定表、連絡先を取りまとめる。
- ・ テーマ別に年2回情報発信をする。回覧板、階段掲示を活用する。ホームページの立ち上げについても検討していく。情報の管理・更新を行う。

##### 【体制など】

- ・ 自治会連合会事務局

#### 自由に集まれる場所をつくり交流をすすめよう(1)；汐見台小の「地域交流室」を活用する

##### 【具体策】

- ・ 平成17年度中に学校・地域の継続した話し合いの場を立ち上げる。
- ・ 地域住民に、どのように、いつ活用したいかニーズ調査をする。
- ・ 学校・地域で話し合う。(管理責任など取り決めが必要な課題が多い。)
- ・ 先行の地区(根岸小・岡村中)の「地域交流室」の立ち上げの経緯について情報収集する。

##### 【体制など】

- ・ 学校、教育委員会、地域住民で話し合う。学校のイメージと地域のイメージを出し合い、すり合わせる。
- ・ 今後のマンション建設の動きにより小学校の生徒数が増える可能性があり、地域に貸出しできる教室がどれくらいになるかわからない。
- ☆地域住民の集まりを学校内で行うことの目的を共有化することが大切。

#### 自由に集まれる場所をつくり交流をすすめよう(2)；青い鳥会館に代わる場所を確保するための検討

##### 【具体策】

- ・ 長期的に地域拠点確保の方法を考える話し合いの場として設ける。
- ・ 各団体の現状を情報収集・交換する。
- ・ 土地・建物・改装など初期費用の工面について検討する。

##### 【体制など】

- ・ 学童／青い鳥／地域住民（自治会連合会・福祉コミュニティ）
- ・ 検討プロジェクトを立ち上げる。
- ・ 自治会連合会でPRする。

## 屏風ヶ浦地区

### ～ひとにやさしい屏風ヶ浦

#### 地区の特性

- 歴史がある街で、古くから住んでいる人が多い
- 区内でも高齢化が進んでいる
- 狭い道路が多い など

### お互いの活動をサポートし、世代を超えた交流の場をつくろう；空き店舗を活用した「サロン梅の里」

#### 【具体策】

- ・ 杉田梅の歴史、梅の効能がわかるような展示をする。
- ・ 梅干漬、梅ジュースの試食、試飲ができるようにする。
- ・ 梅干漬、梅の木の剪定、梅を使った料理の講習会をする。
- ・ 梅にまつわる俳句を募集する。
- ・ 中高生にも来てもらえるような企画を考える。  
(お菓子づくり、ヨガ教室、コンサートなど)

#### 【体制など】

- ・ 杉田梅愛好会／地区社会福祉協議会
- ・ 推進組織として実行委員会を立ち上げる。
- ・ 一般公募して意欲的な人をまきこんでいく。
- ・ 若い世代にも入ってもらう。

### 障害のある人との交流を深め、バリアフリーを進めよう；世代を超え、障害を超えた集いの場をつくる

#### 【具体策】

- ・ 災害時の対応について考える。
- ・ 障害のある人同士の交流の場づくりをする。
- ・ 趣味や遊びを通して誰もが交流できる場をつくる。
- ・ 手話講座・車椅子講座などの福祉啓発講座を開催する。
- ・ いつでも誰でも集まることができるサロンの場をつくる。

#### 【体制など】

- ・ 「集いの場を考える会」（運営委員会）を立ち上げる。
- ・ メンバーとして、障害のある人の代表者、地区社会福祉協議会、学校、活動ホーム、作業所の職員など。
- ・ その他にもやる気のある人を公募して集める。

### 地域の人々の孤立を防ごう；高齢者に地域の歴史を伝える担い手になってもらう

#### 【具体策】

- ・ 「屏風ヶ浦を歩こう会」を開催し、高齢者に地域の歴史を話してもらう。
- ・ 学校で歴史講座を開催し、「語り部」として子どもたちに話をしてもらう。
- ・ スタンプラリーに「歴史コース」を組み込む。

#### 【体制など】

- ・ 連合町内会を通して各地区に呼びかけ、推進メンバーを募集してグループを立ち上げる。
- ・ 森・中原歴史研究会に相談し、協力してもらう。
- ・ 老人会に働きかける。



## 杉田地区

～安全・安心・梅コミュニティSUGITA

### 地区の特性

- 歴史があり古くからの景観が残る
- 水際線のあるまち
- 梅林地域の季節の行事がある
- 根岸線、京浜急行、シーサイドラインの走るまち など

### 青少年と大人たちの協働により地域の交流を進めよう；地域行事への子どもたちの参加を大人がサポート

#### 【具体策】

- ・子ども達の参加する企画委員会を立ち上げる。
- ・学校のカリキュラムに組み込めないか検討する。
- ・学校家庭地域連絡会の活用をする。課題解決型の連絡会に変えていく。

#### 【体制など】

- ・企画委員会のメンバー／学校の校長／地域担当／(小中学校) PTA／自治会町内会／青少年指導員／体育指導委員／子ども会
- ・区境の学校へどのように協力を求めるか。

### 地域での連携交流をもとに防犯と防災を進めよう(1)；連合町内会でブロック制を検討する

#### 【具体策】

- ・町内会長同士で話し合う(協力)。

#### 【体制など】

- ・防災については要支援者から名乗り出てもらう方法しか今のところない。

### 地域での連携交流をもとに防犯と防災を進めよう(2)；犬の散歩、子どもの送迎時などで防犯協力

#### 【具体策】

- ・犬の散歩、子どもの送迎時などに腕章、ステッカーを利用して、防犯に協力してもらう。

#### 【体制など】

- ・地域住民／(小中学校) PTAなど

### 地域のコミュニケーションでマナー問題を解決しよう(1)；人と人をつなぐ窓口をつくる

#### 【具体策】

- ・ごみ出しのマナーが守られるようにするため、お互いが顔見知りになる窓口を地域につくる。

#### 【体制など】

- ・連合町内会／自治会町内会／環境事業推進員
- ☆顔見知りだとマナーは守られる。

### 地域のコミュニケーションでマナー問題を解決しよう(2)；ゴミ出しルールを明確にしよう

#### 【具体策】

- ・ゴミ集積所の効果的なマナー看板を設置する。
- ・大きな看板、奇抜で伝わりやすいキャッチフレーズを考える。

#### 【体制など】

- ・連合町内会／自治会町内会／環境事業推進員
- ☆きれいだと汚しにくい。
- ☆人目が届かないとマナーは低下しがち。
- ☆マナーの問題としてペットとの共生についても検討していく。

### 高齢者の生きがい、健康づくりを進めよう；地域の活動状況をまとめ、定期的に情報紙を発行

#### 【具体策】

- ・地域の活動関連情報紙の発行について協力者を募り、何をどう盛り込むのか検討を進める。
- ・情報紙の編集、発行、更新。
- ・活動グループの連絡会などで情報交換、連携強化を図る。

#### 【体制など】

- ・磯子スポーツセンター／体育指導委員／連合町内会
- ・杉田地区を中心に協力者を募る。
- ☆情報提供者は各施設、各グループ、自治会単位で依頼する。情報は健康、スポーツに限らない。
- ☆取り組む内容を伝えることで、協力者、賛同者が増えるかも。



## 上笹下連合地区

### ～自然とともに生きるまち上笹下連合

#### 地区の特性

- 「こまわりくん」の走るまち
- 緑いっぱいの水取沢市民の森があるまち
- 水仙とコスモスがきれいに咲くまち
- 鶯が鳴き笛が飛び交うまち など

### 青少年の健全なたまり場をつくろう；浜中コミュニティハウスをたまり場にする

#### 【具体策】

- ・どのような場所なのかのイメージを検討する。
- ・対象者は誰か検討する。
- ・学校の開放教室の使用方法について学校側と調整する。
- ・子ども達のニーズを調査しメニューを検討する。
- ・子ども達にも担ってもらおう。
- ・精神保健ボランティアなどにも協力を依頼する。

#### 【体制など】

- ・青少年指導員／体育指導委員／子ども会／少年補導員／学校教師／子ども達
- ☆魅力ある居場所をつくる。
- ☆中学生、高校生は夕方6時以降利用、小学生は土日利用ではどうか。
- ☆けがの対応をどうするか。

### 高齢者を支えあうしくみを推進しよう(1)；災害時のために要支援者の身分証明書をつくる

#### 【具体策】

- ・要支援者の情報は町内会単位で把握する。組単位（回覧板単位）で把握する。
- ・集めた情報を整理して管理する。
- ・誰が情報を収集し、管理をするのか検討する。
- ・日頃の人と人のつながりをつくるのがねらい。
- ・取り組みについて広くPRすることが必要。

#### 【体制など】

- ・連合町内会／地区社会福祉協議会／各町内会
- ・ボランティアグループにも協力を依頼する。
- ☆個人情報保護の観点から本人の了解を得て情報を得る。
- ☆情報を集める人は怪しまれないよう、統一の身分証明書などを身につける。

### 高齢者を支えあうしくみを推進しよう(2)；困り事ボランティアの人材、業務の拡充をする

#### 【具体策】

- ・高齢者のニーズを調べる。
- ・町内会単位で行う。調査員の身分証明書をつくり携帯する。取り組みのPRを行う。

#### 【体制など】

- ・連合町内会／地区社会福祉協議会／各町内会
- ☆ボランティア募集の際、難しいことではない点をPRする。

### 顔見知りの関係をつくろう；一人一人が活躍でき、顔見知りになれる楽しいイベントを企画する

#### 【具体策】

- ・地区社協が協力して、バーベキュー、キャンプなどを、中学生も巻き込んで行う。
- ・子どもの自主的な企画、参加を促す。
- ・子どもの縦の関係を復活する。（登校班の復活等）

#### 【体制など】

- ・自治会／地区社協
- ☆子どもが企画に参加できるしくみが大切。

### 近隣との交流で防犯をすすめよう；防犯パトロールで地域全体での取り組みをPRする

#### 【具体策】

- ・講習会の開催：防犯についての講習会を実施。
- ・犬の散歩、ウォーキング時に腕章、ベストなどを着用。
- ・暗い所をなくす。木を切る、防犯灯など。
- ・普段から近隣の様子に目を配る（立ち話の効用）
- ・地域内の小学校に学援隊を育てたい。

#### 【体制など】

- ・各町内会から始めて連合地区全体でとりくむ。
- ☆住民全体が危機意識を持つことで連携して取り組んでいく。

### 災害時に役立つ防災訓練に取り組もう(1)；出前防災講座(実践訓練を含む)を実施する

#### 【具体策】

- ・講座内容、会場、参加者の募集の方法を検討し、開催。
- ・会場に出てこない人のためにビデオを作成する。
- ・関心の高い人にリーダー講習に出てもらえるよう情報や環境を整備する。

#### 【体制など】

- ・連合町内会／自治会／防災拠点委員／家庭防災員

### 災害時に役立つ防災訓練に取り組もう(2)；行動マニュアルを作成する

#### 【具体策】

- ・三井団地のマニュアルを参考に、各自治会の特性に合わせた実践的な災害時行動マニュアルを作成する。
- ・マニュアルの中に要援護者の名簿（原則申請者）、救助の担当者をいれる。

#### 【体制など】

- ・連合町内会／自治会／防災拠点委員／家庭防災員／支えあい連絡会／関心の高い人
- ☆訓練を受けた人、看護師、技術者などで構成する地域の防災担当者（継続性の確保）
- ☆普段からの近所づきあいが大切。

## 洋光台地区

### ～好きですわがまち洋光台

#### 地区の特性

- 自然、公園、緑が多く、坂も多いが静かなまち
- 音楽が盛んな文化のまち
- 高齢化が急激に進んでいる など

### 高齢者、障害のある人の理解を深め、地域への参加を進めよう；「交流の集い」を開催する

#### 【具体策】

- ・誰もが参加できるお茶のみ会を開き次の交流に発展させる。
- ・障害のある人が話をする（障害の理解を深める）。

#### 【体制など】

- ・「交流の集い」実行委員会を結成（委員：障害のある人、民生委員、ボランティアなど）
- ☆付き添い者、手話通訳などに配慮する。

### 日常生活を見守るネットワークづくりを進めよう；居場所づくり・関係づくり：情報の橋渡しとなる場所に

#### 【具体策】

- ・既存の施設、しくみを活用する。
- ・地域防犯拠点は何かと便利なので、活用する。
- ・「場」のイメージを合わせる。
- ・「場」の候補会場を検討する。

#### 【体制など】

- ・管理者として定年退職した人の力を活かすことを考える。
- ・当番を確保する方法を検討する。
- ☆出て来られない人への支援をどうするかが大切。

### 団塊の世代の力を生かし、情報伝達のしくみをつくろう(1)；団塊世代の力を生かし情報伝達のしくみを

#### 【具体策】

- ・団塊の世代の当事者、関係者にヒアリング調査を行い、ニーズや関心を把握する。
- ・地域ケアプラザで「団塊学校（仮称）生き方教室」を開催し、定年退職後の人が洋光台地域で活動をする事への支援をする。
- ・洋光台地域の需用と供給をマッチングさせるしくみをつくる。
- ・団塊の世代に中心となってもらい地域の情報伝達のしくみを構築する。

#### 【体制など】

- ・連合町内会／地区社会福祉協議会／洋光台まちづくり協議会など
- ☆団塊世代を支援することは長い目で見た介護予防につながる。団塊の世代がいきいきと暮らすことが地域の暮らしやすさにつながる。
- ☆団塊の世代の専門的知識、技術を生かす。
- ☆子どもとの交流、ふれあいの機会をつくる。（技術指導、学校ボランティアなど）
- ☆団塊の世代の人には「使命感」が重要。

### 団塊の世代の力を生かし、情報伝達のしくみをつくろう(2)；団塊世代の力を生かす

#### 【具体策】

- ・読んでもらえるお便りの実例を取り寄せて研究をする。
- ・読んでもらえるお便りをつくる。

#### 【体制など】

- ・連合町内会／地区社会福祉協議会／老人会など
- ☆お知らせを受け取る人の立場で、本当に必要な情報を絞り込む。

### コミュニケーションの力で防犯防災に取り組もう；防犯活動を進める

#### 【具体策】

- ・防犯拠点パトロールに多くの人に参加してもらう。
- ・若い人も参加してもらうよう呼びかける。
- ・声かけ運動を展開する：大人も子どもも声をかけあう。
- ・回覧板を回すときに声をかける。
- ・ワンワンパトロールを実施する（犬の散歩や、ウォーキングする人に、腕章をつけてもらう）。
- ・夕方に犯罪が多いので、暗い空間をつくらないようにする（16時から18時）。
- ・若い世代に参加してもらい、息の長い活動にしていく。

#### 【体制など】

- ・自治会町内会
- ☆洋光台では犯罪が40%減少したが、手を抜いたらまた犯罪が増加する。
- ☆災害時の体制づくりについても、防災訓練の経験をもとに検討していく。



## 上笹下地区

### ～安心して暮らせるまち上笹下

#### 地区の特性

ホタル、鴨、白鷺などがいるきれいな大岡川や、緑ゆたかな自然環境に恵まれたまち

#### 高齢者の生きがいを支援しよう；外出する機会をつくろう／地区の行事に参加してもらえる工夫を

##### 【具体策】

- ・スタッフの確保（あまり負担をかけないようにしたい）。
- ・昼食会の参加対象者の範囲を拡大する。
- ・異世代（子ども）と一緒に場面をつくろう（交流）。
- ・高齢者もお客様ではなく「協力者」として参加する。
- ・行事で役割を担ってもらうことから始める。
- ・声をかけないと参加してもらえないので、どんどん声をかけていく（何をするにも周知方法も重要）。

##### 【体制など】

- ・全住民、全団体が推進する。
- ・子ども会／青年層／会社を退職した世代（中間層）／壮年層／さつき会／自治会町内会／ボランティアグループ／フラワークラブ
- ☆色々な組織、グループの交流・協力を進め、上笹下全体の活力にする。
- ☆保険など、事故などへの対応も想定。

#### 子どもたちが健やかに育つ地域をつくろう（1）；子どもたちの安全を確保する

##### 【具体策】

- ・登下校の見守り体制をつくる。
- ・大人が子ども達に声をかける。
- ・通学路、特に人通りの寂しい危険な道などの重点ゾーンを散歩コースにしてもらう。
- ・掃除での見守りや防犯の腕章でPR。
- ・危険ゾーンのマップを作成し防犯を呼びかける。

##### 【体制など】

- ・子ども110番の家をPTAだけではなく一般の人にもPRを。
- ・学校、PTAが地域と連携をとる体制を。
- ・「たむろ」をする中学生には高齢者などが複数で見回り、話しを聞いていく（リタイヤ後の方にも依頼）

#### 子どもたちが健やかに育つ地域をつくろう（2）；子どもたちと地域の交流機会をつくる

##### 【具体策】

- ・子どもとお年寄りの交流を地域で出来たらいい。
- ・お年寄りから昔遊びや昔の良い風習を教える会を企画する。
- ・子ども達の親も「ムリ」とあきらめるのではなく、自分達にもできることは何かを考える。
- ・敬老行事のひとつとして子ども会のクリスマス会に、お年寄りをご招待する。

##### 【体制など】

- ・老人会／子ども会／青少年指導員／民生委員（関係団体連携）
- ☆見守りをしてもらう高齢者に対して親ができることを考えていく。
- ☆小学生の時に培った関係を中学生になっても続けて行ければよい。

#### 地域の安全を守るため、防災・防犯を進めよう（1）；空き巣、駐車場あらしを防止する

##### 【具体策】

- ・町内で防犯パトロールをする。
- ・犬の散歩時などの防犯パトロールを行う。
- ・防犯ステッカーを地域の各家庭に貼る。
- ・街灯増設を検討する。

##### 【体制など】

- ・自治会町内会／区役所／地区社会福祉協議会／警察
- ・警察に巡回強化を依頼する。
- ☆推進する関係者との緊密な連携が大事。

#### 地域の安全を守るため、防災・防犯を進めよう（2）；災害弱者を支援する方法を考える

##### 【具体策】

- ・自己申告制の名簿の作成を検討する。
- ・自治会町内会、関係団体と連携して取り組む。

##### 【体制など】

- ・自治会町内会／関係団体で組織化
- ☆プライバシーの保護。

#### 地域の安全を守るため、防災・防犯を進めよう（3）；防災訓練を継続する

##### 【具体策】

- ・全世帯が防災訓練に参加できるよう企画をする。
- ・訓練の内容を充実させる。

##### 【体制など】

- ・推進する関係者の連携。

#### 地域の安全を守るため、防災・防犯を進めよう（4）；地域の防災マップをつくる

##### 【具体策】

- ・防災・防犯マップを作成する（危険なブロック塀、がけ、川などの情報をマップに入れる）。

##### 【体制など】

- ・推進する関係者の連携。
- ☆プライバシーの保護。